

第35号 すいかずら

General Incorporated Association
Shrine and Temple
Architectural Decoration
Heritage Skill Association
令和8年3月発行
編集：(一社)社寺建造物美術保存技術協会
発行人：アトキンソン デービッド マーク
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3F
(株)小西美術工芸社内(事務局)
Tel:03-5765-1481 Fax:03-3455-9250
<https://shabikyo.com/>

【新規上級技能者】

R6年度認定

- ・佐藤亜矢子氏
(株)小西美術工芸社
- ・吉成光臣氏
(有)齋藤漆工芸

R7年度認定

- ・山本真由美氏
(有)彩色設計
- ・相馬雄大氏
(岸野美術漆工業(株))
- ・渋谷大輔氏
(株)小西美術工芸社
- ・山岡憲史氏
(株)さわの道玄

社美協では経験年数16年目以上で現場責任者等の実績を有する准上級技能者を対象に上級技能者認定現地審査を実施しております。一次の書類審査と二次の現地審査を経て、令和七年度は4名が新たに上級技能者として認定されました(前年度は2名認定)。この認定により、社美協の上級技能者数は一月末時点で57名となりました。上級技能者は責任ある施工や後進育成等、求められる力が多く、責任も大きい社美協で最高位の認定級です。皆様の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



令和七年度 上級技能者認定現地審査 —新たに4名を上級技能者に認定—



野尻様



豊城様



令和三年度より開始した研修制度は、初級研修から始まり中級研修へと対象を広げることができましたが、本年度、ようやく准上級者まで対象を広げ、「文化財修理座学研修(准上級技能者向け)」を東京で実施することができました。(会場受講者30名 オンライン受講者9名)

研修は一日間と短いですが、午前は、野尻孝明様(公益財団法人文化財建造物保存技術協会 技術参与)と豊城浩行様(当協会相談役)の二名にご登壇いただき、それぞれ設計監理と行政のお立場から当協会の技能者に求めることや修理工事時の注意点等についてお話いただきました。午後は、各部門の理事より推薦された技能者によるパネルディスカッションを実施しました。今後、上級技能者を目指すために求められることは何か。知識や技術の他、コミュニケーションや説明力等々求められる力が多くなればその分悩みも増えるもの。パネラーは自分の施工中の工夫したこと、困ったことなどを発表し、グループトークではそれらについての技能者からの活発な意見交換がありました。今後より充実した研修を目指してまいりますので、皆様のご協力を何卒宜しくお願い致します。

文化財修理座学研修会 —准上級者対象—が実施されました

● 令和7年度 年間事業報告 ●

令和7年	活動（●は国庫補助事業）	場 所
5月8日	第1回 理事会・社員総会	京都 元山王小学校内 社美協事務所 ふれあいサロン
5月26日～30日	中級技能者研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所
5月29日	第8回 浄法寺漆振興会議（五者協定会議）	岩手 二戸市役所
6月9日～11日	●新規採用者のための文化財修理研修会	京都 TKP 京都四条カンファレンスセンター 京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
6月12日	通常会員総会	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン
6月12日	臨時理事会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
7月17日	第2回 理事会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
7月28日～31日	初級技能者研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所 ふれあいサロン
8月25日～9月4日	令和7年度文化財建造物漆塗技能者養成研修 （主催…（公財）日光社寺文化財保存会）	栃木 （公財）日光社寺文化財保存会 作業棟・実物大建造物模型
10月2日	第3回 理事会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
10月7日～10月9日	中級技能者研修 ●固有技術向上研修会【漆部門】	栃木 日光木彫りの里工芸センター 第二教室 他
11月5日～7日	初級技能者研修 ●固有技術向上研修会【単色塗部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所 他
11月11日～13日	初級技能者研修 ●固有技術向上研修会【剥落止め部門】 11/13 講義【馬場良治講師】	京都 元山王小学校内 社美協事務所 他
11月18日～20日	中級技能者研修 ●固有技術向上研修会【単色塗部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所
11月22日、23日	文化庁選定保存広報事業「日本の技フェア」	福井 サンドーム福井 メインホール1階
11月22日	文化財建造物修理関係団体と学校関係団体との意見 交換会	福井 サンドーム福井 201・202会議室
12月9日～12日	中級技能者圧縮版研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】	日光 （公財）日光社寺文化財保存会 作業棟 他
令和8年		
1月21日～22日 1月26日～27日	初級技能者研修 ●固有技術向上研修会【鋳・金具部門】	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン （株）大谷相模掾鋳造所 他 栃木 （有）鈴木鋳金具工芸社 他
1月23日	中級技能者研修 ●固有技術向上研修会【鋳・金具部門】	京都 ゆめりあ うじ 京都社寺鋳漆（株）
1月30日	第4回 理事会	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン
1月31日	●文化財修理座学研修会	東京 TKP 東京カンファレンスセンター

※他団体の実施する会議などへの参加は、主要なもののみ掲載

上級技能者認定審査 次年度申請受付のお知らせ

令和8年度も継続して上級技能者認定審査の申請を受付けます。申請期間は会員登録情報の更新時期と同じになります。尚、社美協より正会員各位にご案内しました過去のお知らせより、再度上級技能者認定審査の申請にあたる条件を提示いたします。

条件1 准上級技能者のうち、経験16年以上で、初級技能者、中級技能者研修^{*1}に加え、必要とされる国家資格^{*2}を取得した技能者であること。

^{*1} 実績の有無によって条件が異なります。

^{*2} 職長教育は5部門共通で必須、部門により有機溶剤作業主任者、鉛作業主任者等の資格が必要です。

条件2 准上級認定後、5年間の現職での実績*があること。

* 経験16年以上の中途採用者に救済措置有。ただし前職の実績は認められません。

※65歳以上の上級技能者かつ認定級の継続を希望される方は、毎年更新手続きが必要となります。

—参照資料—

- ・『新規採用者の準会員登録について』（令和5年6月1日付発行）
- ・『上級技能者の申請における准上級技能者の実績について』（令和5年8月10日付発行）
- ・『上級技能者の年齢制限について』（令和7年1月9日発行）

「文化財建造物保存
技術資料集 積算資
料編 令和8年度版」
が発行されました

昨年度より、一年更新となった「文化財建造物保存技術資料集 積算資料編」ですが、11月7日に令和8年度版が完成し、現在、文技連のホームページまたは、当協会のホームページで申し込むことができます。依然として材料資材の価格高騰が続いており、特に社美協で使用量の多い金箔や漆の価格変動に頭を悩ませております。また、製造停止で現在入手困難な材料もあります。データ版での発行は今回で二回目となります。本データを使用される設計監理者様のご意見を頂戴し、今後ますます見やすく、参照しやすい積算資料を目指して形式などをアップデートしてまいります。引き続き関係団体の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年度社寺建造物装飾技術者事業計画（国庫補助事業）

①
養
承
成
の

1. 文化財修理共通座学研修会 <対象：経験年数1年目～20年目程度>

文化財修理に携わる技能者として、文化財保護や行政の仕組み、建築・装飾技術の歴史的展開、材料、また技能者としての心構えについて、内外部より講師を招き、幅広い知識を習得する。

・新規採用者のための文化財修理研修会ほか

②
能
技
の
練
・
磨
技

2. 固有技術向上研修会 <対象：各部門 経験年数1年目～15年目程度>

「漆塗り」「彩色」「剥落止め」「単色塗」「錆・金具」の各部門の技能者を対象に

各専門技術における材料や道具の扱いから基本的な作業手順、それらを発展させた技術を習得する研修を行う。

③
成
記
・
録
刊
の
行
作

○ホームページによる活動報告

○報告書と会報「すいかずら」による研修事業の成果報告（年1～2回発行）

いあいこわい

突然のご報告ですが、私は今期をもちまして社美協の会長を退任することといたしました。会長職は本来2期4年の任期となっておりますが、荒木前会長より引き継いだ研修制度および認定制度の構築に取り組み中、文化庁、設計監理、理事の皆さまの多大なるご協力をいただきながら整備を進めてきた結果、4期8年にわたりその任を務めることとなりました。この8年間は、協会にとっても私自身にとりましても、非常に濃密で意義深い時間であったと感じております。

私は15年前より、国家資格が300種類以上存在する一方で、文化財に刃物を用いて修理を行う技能者には、何ら資格や認定が求められていない現行制度に、強い違和感と疑問を抱いてまいりました。この問題意識のもと、社美協では独自に初級・中級・准上級・上級からなる技能者制度を構築し、技能者が次世代の技能者のために技術を教え、若い技能者は実技によって習得した技術の確認を受ける。そうした研修を修了した者のみが資格を取得して、認定される仕組みを整えてきました。

さらに、工事の規模や難易度に応じて、入札条件に認定制度を反映させることの重要性についても、関係各所に訴えてまいりました。若い技能者を育成しつつ、確かな技術を持つ者が大切な文化財修理を担うことは、国や業界を問わず一般的な常識であり、その仕組みを文化財修理の分野に根付かせることを目標として進めてきて、ようやく大まかな体制を整えることができたと考えております。

今後は次期会長にさらなる充実と発展を託し、私は新会長を全力で支えるとともに、この社美協が所属する一般社団法人 文化財修理技術保存連盟の理事長として、七つの団体の発展に引き続き努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで支えてくださった皆さま、貴重なご助言と温かいご支援を賜りましたことに、心より深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、退任のご挨拶といたします。

代表理事 アトキンソン デービッド マーク

提出・案内済の主な要望書 / 通達書等 (令和7年度)

発行日	書類の表題名	備考 (内容等)
R7年 3月 5日	正会員の登録部門におけるランク付け制度新設について*	準会員一覧を各部門の認定級の有無により A～D のランク表示に変更
3月18日	名誉技能者制度の新設について*	
4月17日	上級技能者の適正人数の管理制度について*	目安となる割合を設定
5月28日	令和7年6月1日施工 労働安全衛生規則改正について	令和7年6月1日より規則改正により、事業者の熱中症対策が義務付けされた内容の周知
6月23日	アンケート調査ご協力お願い*	上級技能者に関するアンケート
11月12日	令和8年度版 積算資料集データの送信*	令和8年度版の積算資料集を会員に送信

※…社美協会員宛

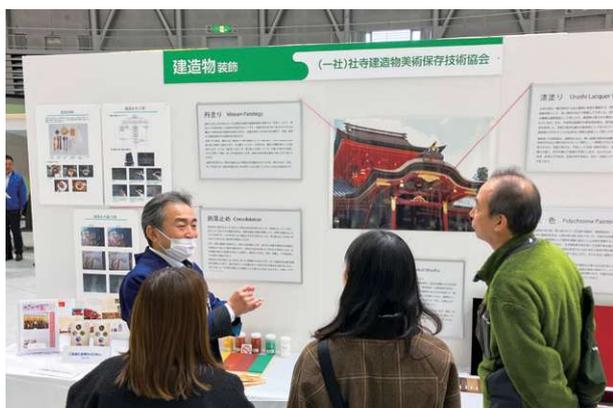
次年度の調査等スケジュール (令和8年度)

(R8)実施時期	内容	
4月	令和8年度上級審査案内	登録状況に基づきご案内します (対象: 正会員)
	会員情報調査	登録状況を確認します (対象: 正会員)
4月～5月	第9回浄法寺漆振興会議	(日程未定) 漆の需給状況等が話し合われます
4月～	令和8年度研修日程案内	令和8年度の研修日程をお知らせします
6月	年会費納入案内	登録状況の確認内容に基づきお知らせいたします (対象: 正会員・賛助会員)
6～7月頃	新人研修	令和8年度入会者に向けた5部門共通の1年目研修を開催
7月～8月	認定証交付	登録状況に基づき発行
9月～10月	文技連積算資料集更新	次年度に向けて社美協単価の更新を行います。
12月	次年度採用予定調査	(対象: 正会員)
12月	上級技能者認定証更新案内	65歳以上の上級技能者に向けて認定証の更新案内
3月	認定証交付	研修、審査の結果に基づき発行

※…社美協会員宛 65歳を迎えた方の上級技能者の更新申請書は随時受け付けます。

令和7年度 文化庁日本の技フェア @サンドーム福井

令和7年度の「文化庁日本の技フェア」は、11月22日（土）、23日（日）の2日間、福井県越前市のサンドーム福井にて開催されました。今回のフェアでも、パネルや資料等の展示のみの形式となりました。社美協正会員一社にご協力いただき、期間中は日頃現場で活躍されている、漆工の職人一名と同社のスタッフにご担当いただきました。社美協ではリーフレットを作成しておりますが、今回持参した分が全て配布されたとのこと。自身も同行した際は同じくらい来場者の方に対して宮大工や左官等のイメージを持たれる方が多いかもしれません。きっと日本の技フェアに来場されて、初めて存在を知った方や、そういえば赤く塗られていたり文様が書いてあったりするな…と建造物装飾という分野に気付かれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。改めて建造物装飾の役割とそれらが持つ意匠の特徴を再認識しました。また、今回の日本の技フェアでも同会場にて文化財建造物修理関係団体と学校関係団体との意見交換会が文化庁主催により開催されました。赤池誠章 前参議院議員がご来賓として臨席され、学校関係者と保存団体間で若年者の入職状況や就職について情報共有を行いました。



令和7年度産浄法寺漆の出荷状況と漆注文システムの進捗状況について

令和7年産浄法寺漆の出荷は、前年の生産量低下が尾を引き、事前協議なしには近年急増する文化財への需要に対応できないことが予めわかっていましたので、シーズン開始前から浄法寺漆生産組合様と幾度となく情報共有と協議を行ってまいりました。具体的には、初回の出荷日程を例年より2〜3週間前倒していただくこと、10月の浄法寺漆共進会前には初漆（6〜7月採取の荒味漆）をすべて出荷していただくことなど、最大限の早期出荷にご協力いただきました。社美協としても会員各社に月単位での需要量調査にお答えいただくなど最善を尽くし、不足の状況には変わりないものの今年7月までの需給については辛うじて目途を立てることができました。この場をお借りして関係する皆さまのご協力に感謝申し上げます。令和7年産の浄法寺漆生産量は約1・5トンです。さて、前号でお知らせしました漆注文システムDX化の進捗です。二戸市様の令和7年度予算にて「漆流通管理システム構築業務」プロポーザルが実施され、市担当者、システム開発業者とともに年度末の完成に向けて開発中です。新システムはウェブブラウザからアクセスのうえ、社美協会員、精製業者、浄法寺漆生産組合に注文・納品数量を入力していただくことで、工事ごとの数量や需給状況など流通の細部と全貌がより精度高く、より即時的に把握できるようになります。まず第一に、利用者がわかりやすく、快適に情報を入力し、注文履歴と出荷状況を一目で把握できるデザイン・レイアウトを心掛けています。8月に出荷が始まる令和8年産の浄法寺漆から運用開始となります。繰り返された注文データの移行後、漆部会会員には6〜7月に使用方法の説明会を実施し、操作マニュアルをご用意いたします。

令和7年度に行った各調査の結果

①各社の次年度採用状況について

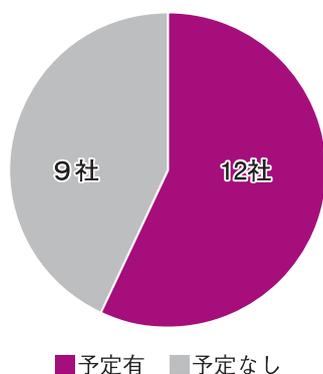
毎年行っている、次年度の新規登録会員数の調査に関して、今回より次年度の採用予定も各会員に伺いました。結果は、次年度の採用予定有が12社、予定なしが9社となりました。尚、現時点で募集を行っているが、なかなか集まらないという回答もあり、昨今の人手不足の影響を受けている状況が見受けられました。

②各社の見学やインターンシップ受け入れについて

各社でこの業界に興味のある方や学生に向けて、会社見学やインターンシップの受け入れを行っているかどうか調査しました。結果はインターンシップ可能…8社、見学可能…13社となりました。可能と回答があったのはいずれも次年度に採用予定と回答した正会員でしたが、予定有の全12社に対する割合は、67%と108%。会社規模や業務内容によって随時受け入れ体制をとるのが難しい会員もいる中、会社見学については、各社で積極的な姿勢が見られました。

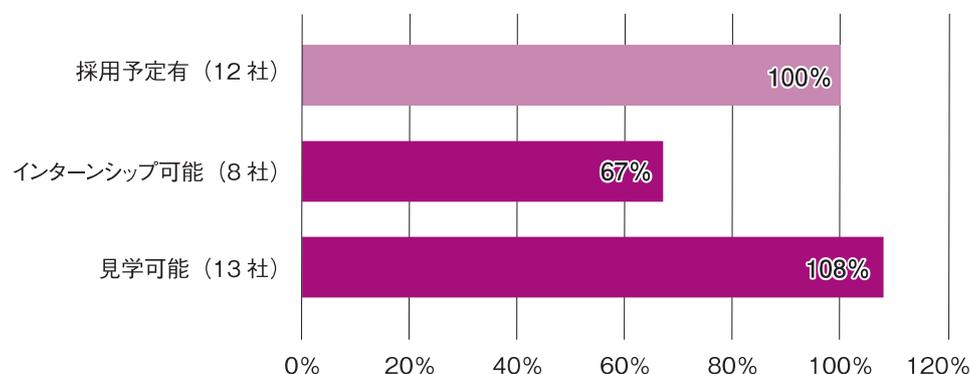
【①の結果】

令和8年度採用予定



【②の結果】

会社見学やインターンシップの受入有無



③文技連より調査依頼を受け、積算資料集に関わる下記2点を当協会正会員にアンケートいたしました。

質問：文技連では積算資料集の発行や行政への要望活動を行っておりますが、

- 1) 入札や受注内容において、物価上昇分が反映されていると感じますか。 (はい ・ いいえ)
- 2) 令和6年度以降、労務単価が上昇している実感はありますか。 (はい ・ いいえ)

【③の結果】 21社中16社の回答があり 1) はい…9社 いいえ…7社

2) はい…8社 いいえ…8社

結果は「はい」「いいえ」が約半々となりましたが、文技連の活動により良い影響を受けている正会員が当協会にもいることが分かりました。今回「いいえ」と回答された正会員にも実感いただけるよう、引き続き文技連の活動に協力してまいります。

令和7年度の社美協準会員 入退会人数と次年度採用状況

令和7年度の入退会人数…入会者 21名 退会者 22名 ※ R8年1月末時点

(令和6年度 …入会者 17名 退会者 39名)

次年度入会予定人数 14名

昨年よりも、調査時点で募集を継続している正会員数が多く、特に漆部門や銕・金具部門に登録している正会員で顕著で、次年度以降の採用人数も同様の傾向がみられました。

「新規採用者のための文化財修理研修会」

期 間：令和7年6月9日（月）～11日（水）
 場 所：TKP 京都四条カンファレンスセンター [6階] 6C（京都市）
 京都市文化財建造物保存技術研修センター（京都市）
 講 師：（公財）文化財建造物保存技術協会 増淵靖裕氏（1日目）
 （一財）中小建設業特別教育協会 手嶋義雄氏（2日目・3日目）
 研 修 生：1日目・2日目：計23名、3日目：24名（内、外部保存団体からの参加0名）



本年の「新規採用者のための文化財修理研修会」は三日間で計24名が受講しました。

一日目の午前は昨年引き続き、この業界に携わるにあたり、建造物装飾技術を構成する五部門と団体の概要について、会長および各部門の担当理事が各技術を紹介しました。社美協では入会申請時に「主たる部門」として五部門から一つを選択しますが、実際の現場では他部門の技能者や他社の技能者と協力して施工を行うことも多々あります。自分は彩色部門所属だけれど、漆部門はどんなことをしているのか：銕金具と丹塗り部分との位置関係は：等、建造物装飾が施された建物を広くとらえる機会となりました。一日目の午後は昨年に引き続き（公財）文化財建造物保存技術協会より増淵靖裕先生にお越しいただきました。文化財建造物の体系と指定の概要にはじまり、保存修理工事の全体の流れについて学ぶことができました。所有者・設計監理・技能者と、文化財修理では多くの人が関わります。貴重な文化財をどのように守っていきたいか、修理を実際に行う技能者の日頃の意識はもちろんのこと、怪我なく安全に作業を進めるための起こりうる危険に対する注意もとても大切です。

「固有技術向上研修 中級技能者研修【彩色部門】」

期 間：令和7年5月26日（月）～5月30日（金）（圧縮版：令和7年12月9日（火）～12月12日（金））
 場 所：社美協事務所（元山王小学校内）（京都市）
 （圧縮版：（公財）日光社寺文化財保存会 作業棟 東照宮 二荒山神社 太猷院）
 講 師：（有）川面美術研究所 荒木かおり氏（株）小西美術工芸社 渋谷大輔氏
 （圧縮版講師：（公財）日光社寺文化財保存会 彩色主幹技能士 手塚茂幸氏）
 研 修 生：5名（圧縮版：4名）



彩色部門の中級技能者研修では、本年は見取り図作成がテーマでした。初日に西本願寺に集合し唐門扉の獅子彫刻より各自見取図のモチーフを選んだ後、修理前の写真から骨描き・着色を行い、見取図を作成しました。見取図は実際に彫刻に彩色を施す際の手本です。分かりやすく正確な作図が求められます。三日目には、文化庁文化資源活用課 修理指導部門より結城啓司文化財調査官他二名の方に研修を視察いただきました。また十二月には日光にて（公財）日光社寺文化財保存会より手塚茂幸様にご指導いただき、日光の彩色技法（建築彩色の概要・置上・箔押・彫刻見取図作成・彫刻生彩色）について四日間にわたり集中した研修を実施しました。

「固有技術向上研修 初級技能者研修【彩色部門】」

期 間：令和7年7月28日（月）～7月31日（木）
 場 所：社美協事務所・元山王小学校ふれあいサロン（京都市）
 講 師：（有）川面美術研究所 荒木かおり氏 （株）小西美術工藝社 渋谷大輔氏
 講師補助：（有）川面美術研究所 柳田友紀氏 （株）小西美術工藝社 東坂一氏
 評 価 者：手塚茂幸氏
 研 修 生：15名（経験年数によって参加日程が異なる）



昨年と同様20センチ四方の巻斗彩色を五年間を通じて仕上げる研修を各年度にあわせて研修しました。基礎的な彩色工程、見取り図作成、型彫り、盛り上げ、金箔押しを進める一方、座学では彩色の歴史を学び、運筆の練習も行いました。酷暑の中での研修となりましたが、皆さん熱心に取り組みました。

他社の同じ経験年数の技能者だけでなく、年齢の近い技能者同士の情報交換の場ともなり充実した四日間となりました。巻斗の完成を目指して、次年度の研修にも頑張って取り組んでいただきます。

「固有技術向上研修 中級技能者研修【漆部門】」

期 間：令和7年10月7日（火）～10月9日（木）
 場 所：日光木彫りの里工芸センター 第二教室（日光市）
 講 師：（株）さわの道玄 長屋進氏 （株）小西美術工藝社 山田洋氏
 研 修 生：11名（経験年数によって参加日程が異なる）



昨年は（公財）日光社寺文化財保存会のご協力のもと、同保存会の施設にて開催された研修ですが、本年は、同じ日光市内の日光木彫りの里工芸センターを使用させていただきました実施しました。本年の研修内容は「蠟色」と「上塗り」です。「蠟色」とは上塗り後の表面を炭等でさらに研ぎ、鏡面のような艶が出るまで磨きあげる技法です。「上塗り」では、黒、朱、朱溜、白壇用の四種（中塗り、箔押まで完了しているもの）に上塗りを施しました。三日間という短い期間の中で、蠟色と上塗りを並行して作業するのは研修生にとって大変だったかと思いますが、各自集中して作業されていました。最終日には東照宮様にご協力いただき現状塗膜の調査として中神庫・本地堂を見学することができました。

「固有技術向上研修 初級技能者研修【漆部門】」

期 間：令和7年8月25日（月）～9月4日（木） ※土日は除く
 場 所：（公財）日光社寺文化財保存会 作業棟・実物大建造物模型（日光市）
 講 師：（公財）日光社寺文化財保存会 漆塗主任技能士 廣田浩一氏
 研 修 生：24名（経験年数によって参加日程が異なる）



※本研修は令和7年度より（公財）日光社寺文化財保存会様主催の「文化財建造物漆塗修理技能者養成研修」と一本化し開催されました。次年度も同様の形式にて開催を継続する予定です。

「固有技術向上研修 初級技能者研修【単色塗部門】」

期 間：令和7年11月5日（水）～11月7日（金）
 場 所：社美協事務所（元山王小学校内）（京都市）
 講 師：（株）さわの道玄 吉川諭氏（株）片山 片山龍馬氏
 研 修 生：6名（経験年数によって参加日程が異なる）



本年の単色塗部門の初級研修は三日間で合計六名の研修生が参加しました。研修開始後、最初に養生作業を行いました。養生作業は単色塗の現場だけでなく、漆塗りや彩色塗の現場でも作業が発生することがあります。今回彩色部門や漆部門に所属する準会員より希望者が参加しましたので、共通する部分と異なる部分を認識する機会となりました。特に有害物質の取り扱いが多い単色塗部門では、人体に影響が出ないように、安全管理や危機管理が徹底されており、保護具への工夫や使用時のチェックポイント等、他部門の技能者にとっても実践的に学ぶ研修会となりました。

「固有技術向上研修 中級技能者研修【単色塗部門】」

期 間：令和7年11月18日（火）～11月20日（木）
 場 所：社美協事務所（元山王小学校内）平安神宮（京都市） 比叡山延暦寺（大津市）
 講 師：（株）さわの道玄 吉川諭氏（株）片山 片山龍馬氏
 研 修 生：2名



昨年初めて実施された単色塗部門の中級技能者研修ですが、本年も開催することができました。今回のテーマは丹朱、丹弁柄・鉄系顔料の練り方・チャーン塗り・柿渋塗り等、様々な技術を実践しました。チャーン塗りは油を使用しただ塗料ですが、引火性が強く、使用前後の塗料の管理が非常に重要です。木造建築が多い文化財建造物にとって、火災は一番避けたい災害。修理の過程で最悪の事態が起こらないよう、施工時以外の注意点を学びました。最終日に現在修理工事中の平安神宮と比叡山延暦寺を見学させていただきました。見学を通して現場の管理やメンテナンス等をディスカッションする貴重な場となりました。

「固有技術向上研修 初級技能者研修【剥落止め部門】」

期 間：令和7年11月11日（火）～11月13日（木）

場 所：社美協事務所（元山王小学校内）（京都市）

講 師：（有）彩色設計 小野村勇人氏 北山潤氏 （一社）天野山文化遺産研究所 山内章氏
（有）川面美術研究所 多田牧央氏 地神舎 馬場良治氏

研 修 生：11名（経験年数によって参加日程が異なる）



本年の剥落止め部門の研修は剥落止め部門に所属する準会員の他、彩色部門からも希望者八名が参加しました。初日は（一社）天野山文化遺産研究所所長の山内章氏による膠の種類や特性、作り方の講義に始まり、剥落止め技法の位置づけ等、各講師特色ある講義内容を行いました。最終日には建造物彩色の選定保存技術認定保持者の馬場良治様を講師にお迎えし、膠の歴史や海外と日本の膠の違い等、奥深い膠の世界を知る三日間となりました。剥落止めは社美協の五部門の中でも、特に現状維持の考え方が強い部門です。そのため、各現場の剥落状況は、それぞれの塗膜層が置かれた環境や年代によっても全く異なり、その中で常に最善の選択を行い、オリジナルを残すことに努めなければなりません。彩色の技術はもとより、多くの経験と知識が求められる部門ですが、社美協でも欠くことのできない技術のひとつです。

「固有技術向上研修 初級・中級技能者研修【鋳・金具部門】」

期 間：初級 令和8年1月21日（水）～1月22日（木）、1月26日（月）～1月27日（火）

中級 令和8年1月23日（金）

場 所：初級 社美協事務所（元山王小学校内） 東本願寺（京都市）（株）大谷相模掾鋳造所（大阪市）

国営平城宮跡歴史公園（奈良市）（有）鈴木鋳金具工芸社 東照宮（日光市）

中級 ゆめりあうじ 京都社寺鋳漆（株）（宇治市）

講 師：初級 （株）大谷相模掾鋳造所 大谷哲秀氏 （有）鈴木鋳金具工芸社 鈴木正男氏
鋳・金具部門特任講師 松井紀明氏 中級 京都社寺鋳漆（株） 治村嘉史氏

研 修 生：初級7名 中級4名



本年の鋳・金具部門の初級技能者研修は、京都・大阪・日光と各地域で実施されました。各社が持つ技術で施工された物件を実際に見学し、修復や復元のプロセスや仕様決定等、施工に至るまでの貴重なお話を伺う機会となりました。また各社の作業場を見学させていただき、作業の見学や金具の製作体験を行うことができました。日頃自分の仕事に集中していたり、忙しかったりすると先輩の作業を間近で見たくても見られる余裕はあまりないもの。使っている道具や手の動かし方、道具の作り方、どれもそれぞれの職人が長年の経験を経て磨いてきた優れた技術であり貴重な学びです。研修生にとってどのような研修の在り方がベストなのか、全く異なる技術であっても、文化財修理の現場では関係が深い技術と、なかなか複雑な鋳・金具部門。これまでの研修の実績から更により良い形を目指していきたいです。

(一社) 社寺建造物美術保存技術協会 名簿

令和8年1月31日時点

No.	企業名 (正会員)	代表者氏名	登録部門					郵便番号	所在地	電話番号 / FAX 番号 メールアドレス
			漆	彩	剥	単	金			
1	(一社)天野山文化遺産研究所	山内 章		●	●	●		586-0086	大阪府河内長野市天野町 997	T. 0721-55-3772 / amanosan-h-lab@chive.ocn.ne.jp
2	株式会社 大谷相模掾 鑄造所	大谷哲秀 (大谷秀一)					●	537-0011	大阪府大阪市東成区東今里 2-6-20	06-6971-6571 / 06-6971-6511 ootanisagami@ceres.ocn.ne.jp
3	株式会社 片山	片山富夫 (片山龍馬)	●	●	●	●		601-8308	京都府京都市南区吉祥院向田東町 10	075-322-1236 / 075-316-6333 ryoma@fancy.ocn.ne.jp
4	有限会社 川面美術研究所	荒木かおり		●	●			616-8242	京都府京都市右京区鳴滝本町 69-2	075-464-0725 / 075-464-0099 info@kawamo-art.com
5	岸野美術漆工業株式会社	岸野直資	●	●				321-1404	栃木県日光市御幸町 587-2	0288-53-3366 / 0288-54-0072 kishino.urushi.art@pb4.so-net.ne.jp
6	京都社寺鋳漆株式会社	治村嘉史					●	611-0041	京都府宇治市横島町吹祈 85-3	0774-24-4489 / 0774-24-4489 info@kyoto-hoshitu.co.jp
7	株式会社 後藤鋳金具製作所	後藤正太					●	607-8302	京都府京都市山科区西野山 欠ノ上町 1-39	075-593-4842 / 075-593-4844 goto-shaji@nike.eonet.ne.jp
8	株式会社 小西美術工藝社	デービッド・ アトキンソン	●	●	●	●	●	108-0014	東京都港区芝 4-4-5 三田 KM ビル 3 階	03-5765-1481 / 03-3455-9250 info@konishi-da.jp
9	有限会社 彩色設計	小野村勇人	●	●	●			615-8072	京都府京都市西京区桂木ノ下町 25-8	075-201-4582 / 075-201-4582 saishiki@gaia.eonet.ne.jp
10	有限会社 齋藤漆工芸	齋藤卯乃 (上村卯乃)	●	●				250-0631	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1285-381	0460-84-2802 / 0460-84-0770 s.saito@saito-urushikogei.jp
11	株式会社 さかい	酒井清裕	●				●	520-2331	滋賀県野洲市小篠原 7-1	0775-87-1178 / 0775-87-5355 kiyohiro@fancy.ocn.ne.jp
12	有限会社 佐和漆工芸社	伊原建樹	●	●				321-1423	栃木県日光市七里 880-5	0288-53-3106 / 0288-26-6894 sawaurushi.koubou@tune.ocn.ne.jp
13	株式会社 さわの道玄	長屋 進	●	●	●	●		604-8232	京都府京都市中京区錦小路通 油小路東入る空也町 491	075-254-3885 / 075-254-3886 info@sawanodogen.com
14	(一財)塩尻・木曾地域 地場産業振興センター	百瀬 敬 (太田洋志)	●					399-6302	長野県塩尻市木曾平沢 2272-7	0264-34-3888 / 0264-34-2832 info@kiso.or.jp
15	有限会社 島津漆彩色工房	島津亮介	●	●	●	●		731-5151	広島県広島市佐伯区五日市町 大字上河内 791-3	082-208-2407 / 082-208-2407 info@shimazu-studio.jp
16	有限会社 鈴木鋳金具工芸社	鈴木正男					●	321-1412	栃木県日光市東和町 57-1	0288-53-1121 / 0288-54-3263 kazarikanagu@iaa.itkeeper.ne.jp
17	株式会社 はせがわ美術工芸	堀尾淳美 (岡崎明)	●					822-0011	福岡県直方市大字中泉今林 885-26	0949-24-7211 / 0949-24-7221 hasegawabijyutu@luck.ocn.ne.jp
18	邑田漆芸株式会社	邑田正廣	●			●		607-8355	京都府京都市山科区西野大鳥井町 118-45	075-591-4137 / 075-502-0638 murata-shitsugei@kyoto.zaq.jp
19	株式会社 森本鋳金具製作所	森本安之助					●	600-8321	京都府京都市下京区楊梅通 西洞院東入る八百屋町 59	075-351-3772 / 075-361-8877 info@morimotokazari.co.jp
20	有限会社 横山金具工房	横山智明					●	601-8394	京都府京都市南区吉祥院 中河原里北町 14-3	075-325-4861 / 075-325-4862 yokoyamakanagu@ybb.ne.jp
21	株式会社 若林工芸舎	船倉洋之	●	●	●	●	●	600-8218	京都府京都市下京区七条通 新町東入西境町 148-5	075-371-3137 / 075-371-3140 info@wakabayashi-kogei.co.jp
No.	企業名 (賛助会員)	氏名						郵便番号	所在地	電話番号 / FAX 番号 メールアドレス
1	株式会社 堤 淺吉 漆店	堤 卓也						600-8098	京都府京都市下京区間之町 松原上ル稲荷町 540	075-351-6279 / 075-351-6270 urushiya@kyourushi-tsutsumi.co.jp
2	ナカガワ 胡粉絵具株式会社	中川晴雄						611-0013	京都府宇治市菟道池山 24	0774-23-2266 / 0774-20-4666 hal@nakagawa-gofun.co.jp
3	NPO 法人 丹波漆	高橋治子						629-1302	京都府福知山市夜久野町 直見 2452	090-8972-5062 / info@tanbaurushi.org
4	鹿田喜造漆店	鹿田 明						600-8042	京都府京都市下京区麩屋町通仏光寺 上る俵屋町 290	075-351-7106 / 075-351-3166 info@shikataurushi.com
5	株式会社 箕輪漆行	箕輪利一						915-0261	福井県越前市朽飯町 11-25	0778-43-0055 / 0778-43-0010 minowa@urushiya.jp

(一社)社寺建造物美術保存技術協会 会員情報

各会員の連絡先、最新情報は社美協 HP「会員名簿」(https://shabiky.com/meibo.html) 及び「準会員情報」でご確認いただけます。 令和8年1月

企業名 (正会員)	登録部門	漆	彩	測	単	金	合計
(一社)天野山文化遺産研究所	登録部門		D	A	D		
	上級			2			2
	准上級			1			1
	中級						0
	初級	1		2			3
	計	1	3	2			6
	名誉						0
(株)大谷相模漆造所	登録部門					A	
	上級				4		4
	准上級						0
	中級			1	1		2
	初級			1	1		2
	計			6	2		8
	名誉						0
(株)片山	登録部門	B	D	D	A		
	上級				2		2
	准上級	1					1
	中級						0
	初級		1	1	1		3
	計	1	1	1	3		6
	名誉						0
(株)川面美術研究所	登録部門		A	A			
	上級		4	1			5
	准上級		5	1			6
	中級		1				1
	初級	2	2				4
	計	12	4				16
	名誉						0
岸野美術漆工業(株)	登録部門	A	A				
	上級	2	2				4
	准上級	2	1				3
	中級	3	2				5
	初級	1					1
	計	7	6				13
	名誉	1					1
京都社寺鋳漆(株)	登録部門					A	
	上級				1		1
	准上級				2		2
	中級				1	1	2
	初級				2	2	4
	計				6	4	10
	名誉						0
(株)後藤鋳金具製作所	登録部門					A	
	上級				1		1
	准上級						0
	中級						0
	初級						0
	計				1		1
	名誉				1		1
(株)小西美術工藝社	登録部門	A	A	B	A	A	
	上級	7	5	1	2		15
	准上級	6	1	2	2	1	12
	中級	3	1			1	5
	初級	13	3			1	17
	計	29	10	2	3	5	49
	名誉						0
(有)彩色設計	登録部門	D	A	A			
	上級		3	1			4
	准上級		1	1			2
	中級						0
	初級	1					1
	計	1	4	2			7
	名誉						0

企業名 (正会員)	登録部門	漆	彩	測	単	金	合計
(有)齋藤漆工芸	登録部門	A	A				
	上級	1	1				2
	准上級	3	1				4
	中級						0
	初級	1					1
	計	5	2				7
	名誉	2					2
(株)さかい	登録部門	A				C	
	上級	1					1
	准上級						0
	中級	1		1			2
	初級						0
	計	2		1			3
	名誉						0
(有)佐和漆工芸社	登録部門	A	A				
	上級	2	1				3
	准上級		3				3
	中級	2	1				3
	初級	1					1
	計	5	5				10
	名誉						0
(株)さわの道玄	登録部門	A	A	B	A		
	上級	2	2	1			5
	准上級		1	2	1		4
	中級	1	1	1			3
	初級	3	2				5
	計	6	6	2	3		17
	名誉						0
(一財)塩尻・木曾地域地産産業振興センター	登録部門	B					
	上級						0
	准上級	1					1
	中級						0
	初級						0
	計	1					1
	名誉	1					1
(有)島津漆彩色工房	登録部門	B	B	B	D		
	上級						0
	准上級	3	1	1			5
	中級						1
	初級	3	2	1			6
	計	7	3	1	1		12
	名誉						0
(有)鈴木鋳金具工芸社	登録部門					A	
	上級					1	1
	准上級					3	3
	中級						0
	初級					1	1
	計					5	5
	名誉					2	2
(株)はせがわ美術工芸	登録部門	A					
	上級	2					2
	准上級	4					4
	中級						0
	初級	2					2
	計	8					8
	名誉						0
邑田漆芸(株)	登録部門	A				C	
	上級	1					1
	准上級	5					5
	中級	3		1			4
	初級	2					2
	計	11		1			12
	名誉						0

企業名 (正会員)	登録部門	漆	彩	測	単	金	合計
(株)森本鋳金具製作所	登録部門					A	
	上級					1	1
	准上級					1	1
	中級					1	1
	初級					1	1
	計					4	4
	名誉						0
(有)横山金具工房	登録部門					A	
	上級					2	2
	准上級						0
	中級					1	1
	初級						0
	計					3	3
	名誉						0
(株)若林工芸舎	登録部門	A	B	D	B	D	
	上級	1					1
	准上級	2	1		1		4
	中級	2					2
	初級		1	1	4	3	9
	計	5	2	1	5	3	16
	名誉					1	1

※灰色の箇所は該当者が「0人」です。

準会員(名誉会員は除く)	漆	彩	測	単	金	合計
準会員登録申請中	88	53	16	17	34	208
個人準会員	3	1	3	7	0	14

凡例と各項目集計

登録部門:

当該部門を主たる技術として登録の上級技能者がいる部門	A
准上級技能者は登録されているが、上級技能者の登録はない部門	B
中級技能者のみが登録されている部門(初級技能者の有無に関係なし)	C
初級技能者のみが登録されている部門	D

※上級技能者とは、原則、次の者とする

- ・16年以上の経験を有する
- ・職長として、一定以上の文化財の施工件数(部門別)及び施工総額の実績を有する
- ・職長として施工した文化財のうち、1件の代表物件における外部有識者を交えた現地審査を経た者

※個人準会員とは、原則、次の者とする

- ・業務を正会員と常用外注する関係にあり、且つ高度な文化財建造物装飾技術の保持が正会員により担保されている者

社美協 HPはこちら→



認定保存技術 [建造物装飾] 認定団体
 一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会

〒108-0014
 東京都港区芝4-4-5 三田 KMビル3F
 (株)小西美術工芸社内 (事務局)
 Tel: 03-5765-1481 Fax: 03-3455-9250



社美協業務に携わり4年目となりましたが、ついに准上級技能者の研修会の開催に至りました。着任1年目の令和4年度は3つの研修からスタートし、本年度は12の研修会の実施が叶いました。今後も拡大していくと思われます。技能者の皆さんにとって良い学びや情報交換の場になれば嬉しく思いますので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。(S)